

Madoka Sato & Masaaki Yasuda **Duo** Recital



J. Brahms
ブラームス

Scherzo für Violine und Klavier c-moll 3. Satz der F.A.E. Sonate
スケルツォ

Yui Kakinuma
柿沼 唯

Quintet "Pinus" for Piano, 2 Violins, Viola and Violoncello
ピアノ五重奏曲「松」 **世界初演**

共演

ヴァイオリン
竹内 弦

ヴィオラ
岡 さおり

チェロ
松本ゆり子

柿沼 唯



F. Kreisler
クライスラー

Liebesleid
愛の悲しみ

J. Sibelius
シベリウス

Scène d'amour de la Pantomime Scaramouche op.71
愛の情景 ～スカラムーシュより～ 作品71

R. Strauss
シュトラウス

Sonate für Violine und Klavier Es-dur op.18
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 変ホ長調 作品18

佐藤まどか & 安田正昭 デュオ・リサイタル
ヴァイオリン ピアノ

2017年 10月 3日 (火) 19:00開演

上野学園 石橋メモリアルホール

全席自由

一般 ¥3,500 学生 ¥1,000

主催：カメラリア 後援：フィンランド大使館、日本シベリウス協会、学校法人 上野学園

問い合わせ・チケット取扱い：銀河企画

Tel. 0422-52-0429 Fax. 0422-52-0248 ginga@nna.so-net.ne.jp

Madoka Sato & Masaaki Yasuda Duo Recital



佐藤まどか Madoka Sato, violin

東京藝術大学附属音楽高校、同大学、同大学院博士後期課程修了。この間イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、2005年シベリウスの研究で博士号(音楽)を取得。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、プラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第2位(最高位)入賞、ロドルフォ・リピツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位(1位なし)入賞。北海道文化奨励賞受賞。ウィーン・コンチェルトハウス、フィンランド・オウルンサロ音楽祭やシベリウス・イ・コルポ音楽祭、デグ国際現代音楽祭、ハッポマン国際現代音楽祭への出演など欧米やアジアでも活躍。ALMよりシベリウスのヴァイオリン作品集 vol.1『子守唄』、vol.2『ノヴェルlette』が、BISの『シベリウス全集第6巻』に世界初録音がワールドリリースされ、ともに高い評価を受ける。ソリストとしての活動を中心として、国内外において室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を行っている。中野熊雄、坂本満智子、中川正子、井上需、澤和樹、沼田園子、B. カトーナ、浦川直也、G. ボッセ、宗倫匡の各氏に師事。上野学園大学准教授。contemporary αメンバー。日本シベリウス協会理事。



安田正昭 Masaaki Yasuda, piano

東京藝術大学附属音楽高校、同大学を経てフランスに留学。パリ・エコールノルマル音楽院にてディプロマ取得、パリ国立高等音楽院でピアノ、伴奏、室内楽の各科のブルミエ・プリを得て卒業。イタリア・マントヴァフェスティバルに招かれリナルド・ロッシ賞を受賞。マリア・カナルス国際コンクール・ピアノジュニア部門優勝、パリ・スタインウェイ・ピアノコンクール優勝、フランス国際コンクール・ピアノ部門にて優勝、モーツァルト特別賞、メシアン特別賞をあわせて受賞。マルサラ国際ピアノコンクール第5位入賞。セニガリア国際ピアノコンクール第4位入賞。J.S. バッハ国際コンクール(ライブツィヒ)ファイナリストなど、受賞多数。2003年にパリから東京へ拠点を移し、定期的に演奏活動を行っている。メシアンの演奏をライブワークとして、2008年にはメシアン生誕100年を記念したピアノ・ソロ作品連続演奏会(全3回)を開催し、絶賛を博した。メシアンの『みどり児イエスにそそぐ20のまなざし』『鳥のカタログ』『音の泉』のCDも音楽誌で高い評価を得ている。青木章子、坂井玲子、中山靖子、安川加壽子、ピエール・レアック、イヴォンヌ・ロリオ・メシアン、ミシェル・ペロス、ブルーノ・リグットの各氏に師事。現在、上野学園大学准教授。



竹内 弦 Gen Takeuchi, violin

東京都立芸術高等学校を経て東京藝術大学を卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。フィンランドのクフモ音楽祭、シモン・ゴールドベルク・メモリアルセミナー、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭などに参加。藝大ラヴェル・プロジェクト、藝大室内楽定期演奏会などに出演。これまでにヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、原谷百代、岡山潔、松原勝也の各氏に師事。現在、日本フィルハーモニー交響楽団第2ヴァイオリン副首席奏者。オーケストラ以外にも室内楽、現代音楽など多彩な活動を行なっている。



岡 さおり Saori Oka, viola

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニアと共演。卒業時には皇居内の桃華楽堂新人演奏会にて御前演奏する。宝塚ベガ音楽コンクール弦楽器部門入選。アンサンブル of トウキョウ、アンサンブル・ヴィルトゥ、プレシヤスカルテット、バンベルク東京カルテットのメンバー。ヴィオラを市坪俊彦、菅沼準二、S・コロの各氏に師事。現在はソロ、室内楽、オーケストラなど多方面で活躍している。



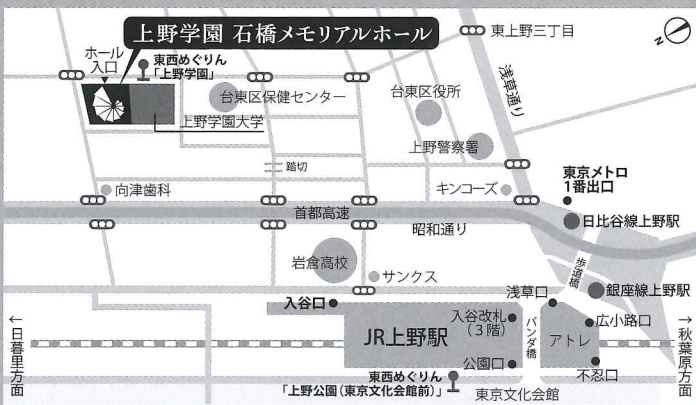
松本ゆり子 Yuriko Matsumoto, violoncello

東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て同大学卒業、大学院(室内楽専攻)修了。在学中よりアポロン弦楽四重奏団メンバーとして活動を始め、国際交流基金の派遣により西アフリカ諸国にて演奏したほか、3年に亘り松尾学術振興財団より音楽助成を受ける。1996年より約9年間東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に所属。現在はフリーの奏者として日本国内および世界各地の音楽祭、演奏会に出演。多方面にわたり活発に活動している。上野学園大学講師。



柿沼 唯 Yui Kakinuma, composer

東京藝術大学作曲科卒業。作曲を松村禎三氏に師事。作曲の他に尺八や能楽、雅楽、ガムランなどの演奏法を学ぶ。1988年から約8年にわたり武満徹氏のアシスタントを務めた。日本交響楽振興財団第9回作曲賞入選('86)、第3回「今日の音楽」作曲賞入賞('88)を経て、1990年にスラトキン指揮セントルイス交響楽団により初演された《アリオソ》により第1回出光音楽賞('91)を受賞。これまで、東京フィル、大阪シンフォニカー、スロヴァキア室内合奏団、イギリス室内管弦楽団、プラハ交響楽団、ハイドン・フィルなど、国内外から作品の委嘱を受けている。2009年には「ハイドン・フェスティバル」(アイゼンシュタット)のハイドン没後200年記念作品委嘱プロジェクトのために世界から招かれる18人の作曲家の一人に選ばれた。近年はオルガン曲も数多く手がけ、「蓮花」('06)はヨーロッパ各地および日本でたびたび演奏されている。2010年にはサン＝ベルタン・ド・コマンジュ(フランス)のオルガン作曲コンクールで、「巡礼の笛」が Marcelle et Robert de Lacour 財団賞を受賞した。



上野学園 石橋メモリアルホール
JR、日比谷線、銀座線「上野駅」より徒歩8分
<http://www.ishibashimemorial.com/>